

(特非) 地球市民の会

モリンガを活用した 緑化と循環型農村作り

一般助成

2年目

実践



モリンガ及び木の伐採に関する研修の様子

モリンガの
植林

15,000本

循環型農業と
木の伐採に関する研修

4回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課題

ミャンマーのパオ一族自治区では、炊事用、焼畑、材木用に伐採する人が多く、森林が減少している。また、農薬や化学肥料を多用し、農地の疲弊や低収入の問題がある。

活動内容

- 循環型農業と緑化に関する研修を4回実施、263名が参加した。
- 地域の緑化委員会を組織し、住民とモリンガを15,000本植樹した。
また委員会主導で自主的な植林674本を実施。
- モリンガシードの搾油に加え、今年度はモリンガリーフのハーブティー加工を実施、販促用リーフレットやラベルを作成し、販売を行った。
- 日本視察を実施し、モリンガ販売についてマーケティング研修を行った。



モリンガティーのパッケージと
パンフレット

今後の課題

緑化基金の創出部分に力を入れていく必要がある。最終年度はモリンガ加工品をより多く販売できるよう努力する。また、事業終了後も循環型農業を普及できる人材育成を行ってきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・地域の自主的な植林本数が674本になった。
- ・「化学肥料と農薬の量を減らした」と回答した農家が80%となった。
- ・「木を切る量を減らした」住民が90%になった。

工夫

モリンガ加工品の販売が事業成功のカギになるため、販促ツールの作成や販促イベントを積極的に実施した。